



秋厚労ニュース

NO1969号
2021年8月25日
秋田県厚生連労働組合
秋田市山王5-4-2
TEL 018(864)3341
FAX 018(864)3349

内外に示す

地域医療は守る

2020年度 総括(案)

8月7日の中央委員会で2020年度の総括(案)が組合員の皆さんに提案することが決まりました。秋厚労第74回定期大会議案書に掲載され、支部や職場での話し合いを経て、大会で議論されます。

地域医療を守るため

総括(案)は、2020年度運動方針に対して、どのような運動をしてどうだったかを記載しています。運動の教訓などは、運動の節目「秋闘(9~12月)、春闘(1月~4月)、年間手当交渉(5月~6月)」ごとに中央執行委員会や中央委員会で論議を重ねて確認してきました。

特別慰労金を支給

2020年度は新型コロナ

ナウイルス感染症により、全国の病院で経営が傾き年間手当の減額が相次いだ年でした。秋厚労は、組合員の不安の声を経営側に伝え続け、経営側は「頑張っているから職員全員に対応したい」と考えを示していました。10月31日、3月31日に正職員・臨時職員に新型コロナナウイルス感染症特別慰労金として一律5万円が支給になりました。

議員・県へ要請行動

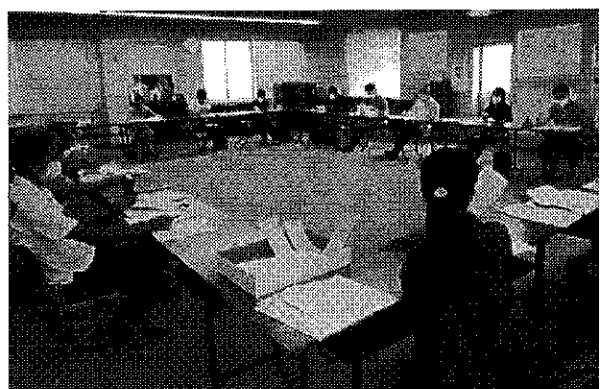
また、年末手当も前年と変わらず2ヶ月の回答を得ました。

秋厚労 激励金支給

秋厚労も、組合員の声を聞き、新型コロナナウイルス感染症の拡大は災害と位置付け、新型コロナ感染症対応激励金として闘争資金より組合員1人につき1万円を2020年9月に支給しました。積極的に配布した組合役員や、師長などの協力的な姿勢は、労働組合活動の見本になるものでした。

労働安全衛生委員会の活用

労働条件の改善については、「時間外労働」「休み」「夜勤」などの課題について、実行ある施策を総務人事部と事務折衝で意見交換しました。課題を精査する過程で「労働安全衛生委員会」が力になると労使ともに意見が一致し、春闘で「今後、労働安全衛生委員会を活用し、病院ごとに課題を改善していく」ことを確認しました。



2021年8月7日 中央委員会

また、受け取った組合員が笑顔になったことが、なよりの成果でした。

また、春闘では、新型コロナナウイルスの影響から地域医療を守るために、秋田県と県選出の国会議員へ、国に「公立病院と同等の地方交付税措置」「基本診療料等の増額」「定期的な医療従事者のPCR検査の実施」を求める要請書を提出しました。県への要請では、報道機関の取材をおして、県民に秋厚労の活動をアピールできました。



2021年1月29日 県要請後に取材を受ける中村執行委員長